

草の根活動 交流NEWS

第712号
2024年 4月30日
会員数 158万 3382人
読者数 4534人

消費税をなくす全国の会
〒114-0023
東京都北区滝野川3-3-1-201
電話03-3940-0401
FAX03-3949-9885
Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp

24パンフの活用で 消費税減税・インボイス廃止！

2024年版パンフ「何が問題？消費税、インボイス ホントに必要？」を発行しました。全国の会や各県の会にも注文が寄せられ、すでに1万冊近くを普及しています。県の会や草の根の会では総会に併せて、パンフを使つての学習会も予定されています。読んだ人からは「わかりやすい」「会を大きく訴えることができる」と好評です。ぜひ、1人でも多くの人にパンフを届け政治を変える力にして、消費税減税・インボイス廃止を実現させましょう。

総会で活用し、活発な議論に 福島の会



4月20日、二本松市の県男女共生センターで第13回総会を開催。県内各地から世話人など13人が参加。24パンフを手元に置いた討議では「パンフを見て、改めて消費税が憲法違反の税制だと思った」「消費税が軍拡や大企業の減税に使われたことがわかる素晴らしいパンフだ」「消費税が当たり前の若者に、会費のない『会』だと大きく訴えることができる」などの意見が出され、活発な話し合いになりました。

「消費税減税・インボイス廃止求める学習会」

4月20日、二本松市で各界連と共催で日本共産党の田村貴昭衆議院議員を講師に開催。50人が参加し、署名や宣伝行動を強めようとする確認。田村議員は「インボイス未登録を理由に仕事をなくした」という悲痛な声や取引停止、価格の引き下げ、事務負担の増加などの事例を紹介。「インボイスは廃止以外ない」と強調。自民党の裏金問題に国民の怒りの声があがっている今、選挙で政治を変えていこうと呼びかけ。参加者は怒りの声を上げ、行動を強めようとする決意を語りました。

「赤旗の広告を見た」と注文

4月26日の赤旗に掲載された広告を見て、町田市の男性から注文の電話が。

「24パンフ わかりやすい」 神奈川の会

神奈川の会から「読みやすい、構成も単純化してわかりやすくていい、色もきれい」との感想。

メーデーで販売 愛知・瀬戸の会

5月1日のメーデーでの署名宣伝行の際、パンフ100冊を普及する予定。

草の根の会、各団体に販売 兵庫の会

2200冊を取り寄せ、7つの草の根の会に330冊、16の民主商工会に1170冊、5つの共闘団体に360冊、合計1860冊を普及済みです。普及の際、自民党の裏金で告発から検察の捜査へとつながった地元の上脇博之さん（神戸学院大学教授）から推薦をいただいていることを強調。

中央委員会で配布予定 年金者組合

中央委員会で参加者に配布すると100冊を購入。

パンフ推薦人・本田医師も50冊

パンフ推薦人の本田宏医師は50冊を購入。「若い人に広げる意味で、ポイントだけでもホームページ等に載せて、パンフの拡散と普及をしやすいようにしたらどうか」との意見も。

総会で活用 大分の会

4月27日に総会を開催し、各界連事務局長の中山真さんの講演「消費税廃止を求める運動をもっと大きく」を聞き討議。不公平な消費税を廃止するため、多くの人に知らせ、選挙で消費税廃止の議員を国会に送り出そうとする決意。